

2018年度

交流・コンテスト・研修プログラム一覧

1. 2018年度SGH国内外派遣を伴うプログラムおよび特別講義一覧（3月8日版）

SGH委員会

以下は2018年度にSGHの各研究課題で企画する国内外フィールドワーク（以下「FW」と表記）派遣のリストです。日々の授業の中で研鑽を重ねつつ、より深く学びたい学院生諸君の積極的な参加を期待しています。可能な限り多くの学院生に参加の機会を設けることと、一つのプロジェクトへの継続的な参加を通じての学びを深めることを意図して、1人が参加できるプロジェクト（SGH予算による補助を受けての国内外派遣を伴うもの）は1つだけに限定します。また、SGH予算による補助を行うため、参加にあたっては事前・事後学習と事後報告（レポート提出、研究発表等）による成果還元が義務づけられます。

18年度は本学院で11月に国際高校生学会WaISEC（Waseda International Symposium of Education and Culture）を開催します。FWを核とした各研究課題はもちろん、授業やクラスベースでも何らかの形で参加ができるよう、プログラムを組んでいきます。

各研究課題のFWの詳細の告知や募集はLHRや2階教員室前のSGH掲示板にて随時お知らせしていきます。興味があれば早期に担当教員（コーディネーター）に申し出てスケジュールを確認して下さい。また、SGH企画の課外講義もお知らせしていきます。FW参加者はコーディネーターの先生が指定する課外講義への参加が義務付けられますが、それ以外の諸君もぜひ聴講して学びを深めていってください。

海外FWの多くは英語が共通言語として使用されますが、英語力のレベルそのものよりも、異なる価値観・見方・考え方をもった相手と積極的にコミュニケーションを取りパートナーシップを構築しようとする意欲が重要です。参加希望者が多い場合は選考を行うこともあります。現時点での能力よりも、事前事後の学習を含めたプログラムに積極的・継続的に参加し、主体的に学びを深めることができるかどうかを重視します。したがって、SSHなど他のプログラムとの兼ね合いについてはそれぞれの担当教員と十分相談して下さい。また、卒業論文で関連するテーマを取り上げようとする学院生を特に歓迎します。

<FW参加にあたっての留意事項>

- ◆ 国際情勢や気象条件、パートナーの事情によって予定が変更または実施が取りやめになる場合もあります。
- ◆ SGH予算と自己負担の率は、原則として空港またはターミナル駅を起点・終点にして計算しています。現地の食費は原則として自己負担ですが、行き先の宿舍の事情によってプログラムごとに扱いが異なります。
- ◆ 経費は18年度SGHFW派遣規定により若干の補助をします。17年度よりも自己負担が増える見通しです。
- ◆ 特に海外FWの場合、参加者の責任で旅行保険に必ず加入してください。

☆以下の表の期日および予定の記載は2017年度のものです。変更の可能性はありますが、参考にしてください。

2018年度の予定は詳細が決まり次第、お知らせします。

	研究課題名、17年度FWテーマ概要	17年度派遣時期・方面・人数・費用	17年度募集・参加条件等
1	A-1 グローバル社会と人権 沖縄FW グローバル化が進む世界での人権保障のありかたを、地方から考える ☆内容および参加者募集概要はSGH掲示板参照のこと	8/29(火)～9/01(金) 3泊4日 沖縄本島予定(掲示参照) 3名～6名 17年度SGH FW派遣規定により補助 担当: 上田太郎(公民科)	5/11(木)～5/27(土) 課題による選考を実施 事前学習会参加のこと
2	A-3 紡績業を軸とした教科横断型授業 上海蘇州FW 20世紀前半の中国長江デルタ地帯における日本人の活動を中国人高校生とともに考える。 ☆内容概要はSGH掲示板参照のこと	7/25(火)～7/30(日) 5泊6日 江蘇省蘇州中学、蘇州市、上海市 4名～8名 担当: 三崎良章(地歴科)、 吉田茂(国語科、教務室)	学習会に必ず参加のこと。 ① 5/23(火) 16:00-17:30 ② 6/06(火) 16:00-17:30 ③ 7/14(金) 14:00-15:30 ④ 2学期に2回程
3	B-1 インバウンド観光プランの開発 シンガポールFW インバウンド観光の実地調査・研究。シンガポールの現地校生徒との交流、政府機関等の訪問、現地調査他。 ☆内容および参加者募集概要はSGH掲示板参照のこと	→2018年度は7月中旬に実施予定 です 8/22(水)～8/25(金) 3泊4日 シンガポール 5名 17年度SGH FW派遣規定により補助 担当: 赤塚祐哉(英語科)	5/12(金) 昼休み説明会 書類選考・英語面接選考 7月 事前学習会 9月 レポート提出 11月 早大で発表
4	B-3 オンライン・対面交流で進める学習交流(インドネシアFW, フリーペーパープロジェクト (海外)) オンライン交流を通じて打ち合わせたテーマを深く掘り下げるため、インドネシア ジョグジャカルタ市でFW実施。現地での相談を踏まえ、SMA N2 Yogyakartaの生徒と一緒に英語雑誌“Free Paper”を作成。 ☆内容および参加者募集概要はSGH掲示板参照のこと	ジョグジャカルタFW 日程は8/27(月)～9/01(金)で交渉中。3泊5日(機中1泊)の可能性。 Yogyakarta市、および近郊 6名まで。17年度SGH FW派遣規定により補助。 担当: 望月真帆(英語科)	FW参加者: 書類選考、必要に応じて面接 6月 オンライン交流開始、事前学習会 9月 事後レポート提出
5	C-1 韓国の高校生とのテーマ学習 17年度の内容は検討中。LHR連絡、掲示に注意のこと。	検討中 担当: 佐々木幹雄(地歴科)	検討中
6	C-2 国際共生ボランティア 自然問題班 屋久島環境ボランティア。詳細は今後のLHR連絡、掲示に注意のこと。	7月最終週～8月中の3泊4日で検討 屋久島(羽田→鹿児島→屋久島) 8名 担当: 吉田茂(国語科、教務室)	LHR等を通じて連絡 引率: 矢野健治郎(生物科)
7	C-2 国際共生ボランティア 社会問題班 ネパールの貧困、少女売買の実態や支援活動について学ぶスタディツアーに参加。人道支援について深く考える。	8/05(土)～8/15(火) ネパール 7名 担当: 吉田茂(国語科、教務室)	LHR等を通じて連絡

8	C-3 HAS 国際シンポジウム *18年度は募集済	7/17 (月) ~7/21 (金)	
	各国から集まった高校生が共通のテーマについてのディスカッションを英語で行う大規模な国際シンポジウム。3人1チームで事前に発表論文を提出。滞りはハナ高校寮。	ソウル (韓国) 7名 (参加者決定済) 17年度 SGH FW 派遣規定により補助 担当: ジョージ (英語科、教務室)	

※ WaISEC プログラム案 (2月28日版) *開催日は決定、プログラムは今後変更あり。

- アジア圏の交流校および国内 SGH 校、計 10 校程度を招待する計画です。学院生の参加形態は、SGH シニアスタッフが運営を担い、
- FW 参加のメンバーおよび指定授業の受講生が主な発表者となるイメージです。
- 15日~17日は通常授業を行います。一部学年集会等のかたちで皆さんの参加を計画しています。
- クラスもしくは部活動ベースで参加していただく部分も計画しています。今後の連絡に注意してください。

日時	行事予定	ゲスト校宿泊地
11月14日(水)	(埼玉県民の日) 海外ゲスト校 到着日 (都心) 学院内準備日 (おもに SGH シニアスタッフ)	東京
11月15日(木)	海外ゲスト校・国内ゲスト校 本庄到着 学校紹介、授業体験、開会式	本庄
11月16日(金)	基調講演、研究発表、ポスターセッション 協働プロジェクト①	本庄
11月17日(土)	協働プロジェクト② (フィールドトリップ → 討論とプレゼンテーション作成)	本庄
11月18日(日)	協働プロジェクト成果発表、講評、閉会式 帰国・帰宅	帰国・帰宅

2. 科学技術関連プログラム (旧 SSH プログラムからの継続含む)

教務/各教科/SSH 検討委員会/国内外交流委員会

以下のリストは、2018 年度に実施・参加予定の、交流・コンテスト・研修企画における科学関連プログラムの一覧です。参加したいプログラムがあれば、担当教員から詳しい説明を聞いておきましょう。実際の募集は LHR や掲示板、学院 Web サイト、授業などを通してその都度行います。学院生諸君の積極的な応募と探求に期待します。

なお、使用言語が「英語」とされている企画でも、英語力の有無をあまり気にする必要はありません。本庄学院の国際プログラムの多くでは、海外の人とコミュニケーションをとろうとする意欲が大事です。

なお、【科プロ】と表示のあるプログラムは、SSH 校指定時に実施していたプログラムのうち、SSH 指定が外れた後も継続しているものです。要項は今後メディアルーム前掲示板に張り出します。

4月~6月

プログラム・概要	実施時期・場所	参加条件・問合せ先	備考
----------	---------	-----------	----

1	<p>立命館高校科学技術人材育成プロジェクト【科プロ】 立命館高校（京都）では、他 8 校と一緒に SSH 事業の一環として世界最大規模の国際高校生科学シンポジウムである Japan Super Science Fair を軸とした国際社会で活躍できる科学技術人材を育成するプロジェクトを実施しています。本校はその連携校の 1 つです。</p> <p>海外生徒と半年間共同研究を行い、その成果を 11 月の JSSF で研究発表します。</p> <p>非常にハイレベルで収穫が多く、達成感の高いプログラムです。国内・海外の友人もたくさんできます。特に英語力・プレゼンスキルの大きな向上が期待されます。</p>	<p>月 1 度程度の都内での研修活動（科学英語・プレゼンスキル等、および専門家による講義）</p> <p>5月からネットを通じた、海外生徒との共同研究</p> <p>8月のグアム(2月現在予定)での研修と共同研究</p> <p>11月 JSSF での成果発表</p> <p>以上、すべてのプログラムに出られることが基本です。</p> <p>※募集 4 月中旬</p>	<p>2 名（2 年生以上・性別を問わない）課題により選別</p> <p><u>半田（情報科）</u></p>	<p>交通費は基本的に SSH 重点枠予算から支出されません。</p> <p>食費・宿泊費は SSH 予算で支出できません。</p> <p>言語は英語</p>
2	<p>河川研究班（通称：川研）【科プロ】 早稲田大学榊原研究室・民間 NPO・埼玉県・本庄市との河川環境保護プロジェクト。2009 年から継続されている川研の河川環境保護活動は、何度もマスコミに取り上げられ、多くの表彰を受けています。</p> <p>成果は「ストックホルム高校生水大賞」「日本水大賞」「いい川ワークショップ」「日本水産学会」「日韓青少年水フォーラム（7 月下旬予定）」等に応募予定。</p> <p>テーマに沿った研究活動の他、本庄市立藤田小学校の総合学習の年間講師や本庄市民総合大学の講師（夏休み）等を務める。</p> 	<p>市民シンポジウムと市民講座（夏休み）</p> <p>藤田小 5・6 年生の年間講師（年 10 回）</p> <p>川エビの採取・飼育・実験観察</p> <p>水力発電機の開発実験</p> <p>日韓青少年水フォーラム（韓国、水原市）、いい川ワークショップ（京都）、川の日ワークショップ（関東大会、川のシンポジウム等で研究発表</p> <p>※募集 4 月中旬</p>	<p>3 学年で 10 名程度、学年・性別は問わない。</p> <p>外部との連携先活動なので、年間の活動に責任を持って関わること</p> <p>研究発表（プレゼン・論文）を行うこと。</p> <p>子供が好きなこと（小学校教育・初等教育に興味のある人も歓迎します）。</p> <p>活動継続者を優先します。</p> <p>課題により選抜</p> <p><u>半田（情報科）</u></p>	<p>研究発表旅費は自己負担（一部外部補助あり）</p>
3	<p>MWITS—Waseda Exchange Program【科プロ】 MWITS 生徒が本庄学院を訪問。遠足、文化交流、博物館見学、科学プログラム、軽井沢研修、授業参加等多彩なイベントを予定。</p> <p>MWITS=Mahidol Wittayanusorn School (Thailand)</p> 	<p>4 月 18 日～24 日</p> <p>プログラム参加者募集については LHR で連絡します。</p>	<p>多数（条件なし）、プログラム毎の参加も可</p> <p><u>半田（情報科）</u></p>	<p>参加プログラムに応じて実費</p> <p>言語は英語</p>

夏季休業中

	プログラム・概要	実施時期・場所	参加条件・問合せ先	備考
4	<p>Waseda-NJC Exchange Program (シンガポール研修)【科プロ】</p> <p>シンガポールにおける、科学共同研究、企業研究室博物館見学、自然保護区などにおける動植物観察、NJC の授業参加など。</p> <p>ホームステイ予定 (2 日程度)、NJC のドミトリー泊。</p> <p>研究発表・共同研究を交流の目的にしているため、関わるのが義務。</p> <p>熱帯の気候や食文化、宗教、ホームステイに無理なく対応できること。</p> <p>優秀共同研究者 1 名は NJC 生徒とともに 11 月京都で開催される JSSF で研究発表を行います。</p> <p>参加者は 10 月に NJC が来校した時のホストファミリーをご検討ください。</p> <p>※ NJC(Singapore National Junior College)</p> 	<p>未定 (7 月中旬～8 月上旬の約 1 週間)</p> <p>2 回のテレビ会議、数回の事前研修あり</p> <p>※4 月中旬募集</p>	<p>9 名、学年・性別は問わない。</p> <p>共同研究が軸になるので、自分の卒論テーマ等に活かすことを期待します。</p> <p>共同研究テーマが既存研究の場合、優先します。</p> <p>参加者は課題により選抜。</p> <p><u>半田 (情報科)</u></p>	<p>成田・羽田までの交通費と航空運賃は自己負担 (自己負担額未定 8 万円程度)</p> <p>言語は英語</p>
5	<p>中国生徒の来校【科プロ】</p> <p>中国全土から日本との科学交流のため厳しい審査で選抜された 24 名の生徒が本庄学院を訪問します。実験教室、文化交流などを行います。</p>	<p>7 月 23 日</p> <p>※5 月中旬募集</p>	<p>誰でも参加可能</p> <p><u>半田 (情報科)</u></p>	<p>無料</p> <p>言語は英語</p>
6	<p>14th International Intelligent Ironman Creativity Contest【科プロ】</p> <p>台湾教育部・国立台湾大学主催、創造性養成のための国際コンテスト。3 日間で与えられた課題に取り組む。創造性・体力・知力が問われる。</p> <p>本学院は台湾政府の招待を受け、第 1 回から参加。台湾国内全高校+6 カ国参加。参加国チームとの遠足や学院生だけの市内研修あり。昨年はパフォーマンス部門優勝。</p> <p>体力的に健康な者、協調性のある者、多様な食生活・住環境に対応できる者が条件。</p>	<p>7 月 24 日～ 31 日</p> <p>松山大学 (台北)</p> <p>※4 月中旬募集</p>	<p>体力・英語力・芸術・数学・歴史・理科等 1 つの分野に自信のある生徒 6 名による 1 チーム。学年は問わない。</p> <p>希望者が多い場合は課題により選抜。</p> <p>宿泊の都合上、同性のチームにします。</p> <p><u>半田 (情報科)</u></p>	<p>台湾国内の諸費用は無料、自己負担額未定 (6 万円程度)</p> <p>大学ドミトリー泊</p> <p>言語は英語</p>
7	<p>小笠原研修【科プロ】</p> <p>小笠原父島・母島を訪問、母島におけるフィールドワーク・サンゴの白化観察・アオウミガメの放流・夜行生物の観察・自然保護区南島でのワークショップなどを行う。また、母島の小学生に対し科学教室を開催。</p> <p>船中片道 25 時間と長いので、船酔いがひどい人は遠慮した方がいい。</p> <p>フィールドワークを行うので、基本的な体力がある</p>	<p>8 月 25 日～30 日 (船中 2 泊)</p> <p>事前研修あり</p> <p>小笠原諸島 父島・母島</p>	<p>最大 10 名。学年・性別は問わない。</p> <p>参加者は課題により選抜。</p>	<p>自己負担額未定 (10 万円程度)</p>

<p>こと。 多様な食生活に対応できること。 ある程度泳げること。 子供が好きであること。</p> 	<p>※4月中旬募集</p>	<p><u>半田 (情報科)</u></p>	<p>船中・民宿泊</p>
--	----------------	------------------------	---------------

9月～12月

	プログラム・概要	実施時期・場所	参加条件・問合せ先	備考
<p>8</p>	<p><u>NJC-Waseda Exchange プログラム【科プロ】</u> NJC 生徒が本庄学院を訪問。遠足、文化交流、博物館見学、科学プログラム、授業参加等多彩なイベント。 NJC 生徒のホストファミリーとして協力して下さる方も募集。 ※ NJC=National Junior College (Singapore)</p> 	<p>10月下旬～11月上旬 1週間</p> <p>プログラム参加者募集については9月LHRで連絡</p>	<p>多数(条件なし)、プログラム毎の参加も可</p> <p><u>半田 (情報科)</u></p>	<p>参加プログラムに応じて実費 言語は英語</p>

1月～3月

	プログラム・概要	実施時期・場所	参加条件・問合せ先	備考
<p>9</p>	<p><u>Waseda-MWITS Exchange Program【科プロ】</u> タイ最高峰の Mahidol Wittayanusorn School との密度の高い国際交流プログラム。 MWITS が主催する国際サイエンスフェアが同時期の場合、参加する可能性があります。その場合、科学研究発表・課題コンペなどにも参加します。 その他、会期以外は授業参加・部活参加・文化交流・遠足等。 熱帯の気候や食文化、宗教、ホームステイに無理なく対応できること。 参加者は、MWITS 生徒が来校した時のホストファミリーをご検討下さい。 ※ MWITS=Mahidol Wittayanusorn School (Thailand)</p>	<p>2017年1月中の約10日を予定。</p> <p>※募集7月上旬。</p>	<p>9名、1・2年生、性別は問わない。 課題選考あり。サイエンスフェアに参加する場合は既存研究のある者を優先します。</p> <p><u>半田 (情報科)</u></p>	<p>タイ国内の経費は主催者側負担。自己負担額未定(7万円程度) 言語は英語</p>

10	<p>ハナ高校（韓国ソウル）短期交換留学 ハナ高校との本庄学院相互の生徒若干名ずつを、それぞれ 2～3 週間ずつ派遣して通学させるプログラム。</p> <p>ハナ高校から本庄学院へ、若干名の生徒を 1 月頃に 2～3 週間受け入れます。また本庄学院からハナ高校へ、若干名の学院生を春休みに 2～3 週間派遣します。滞在先はハナ高校寮またはハナ高校生の家庭（ホストファミリー）となります。</p> <p>それぞれの短期留学生は、滞在期間中、一般の生徒と一緒に通学し、授業・課外活動・行事等に参加します。</p>	<p>受入：1 月頃 派遣：春休み</p>	<p>派遣の条件等： 若干名、1・2 年生。 選考あり。異文化コミュニケーション能力・英語運用能力・学業成績・出席状況等が選抜基準となります。</p> <p>事務所前掲示板や LHR での連絡事項に注意しておいてください。</p> <p><u>ジョージ（教務室）</u></p>	<p>派遣： 渡航費・日本国内旅費・保険料・現地通学交通費・小遣い等は自己負担。 期間中の授業料・寮費・食費（校内カフェテリア）はハナ高校が負担。</p> <p>言語： 受入時は英語・日本語。派遣時は英語・韓国語</p>
----	--	----------------------------	---	---

未定・通年

	プログラム・概要	実施時期・場所	参加条件・問合せ先	備考
11	<p>「これがサイエンスだ！」【科プロ】 理科系の色々な分野に関する研究内容や話題をその分野を専門とする教員や講師から直接話をします。実習やフィールドワークなども計画しています。科学を身近に感じ、興味を持ってもらいたいという目的の講義です。気軽に参加して下さい！</p>	<p>年間 5 回程度（詳細はその都度伝えま</p>	<p>全学年対象</p> <p><u>大塚（物理科）</u></p>	<p>参加費無料</p>
12	<p>「これサイ ゼミ合宿」【科プロ】 「これがサイエンスだ！」では扱いきれない、じっくりと探求する時間をとって、ゼミ形式（講義ではなく、学院生の議論・作業が中心となります）の活動をするものです。理数系のテーマでいくつかのグループに分かれながら、時間を忘れて理科・数学の各テーマに取り組みたい学院生にお勧めです。</p>	<p>7 月中旬・下旬ころの 2 泊 3 日を予定。宿泊地は本庄セミナーハウスを予定。</p>	<p>全学年対象</p> <p><u>峰（数学科）・大塚（物理科）</u></p>	<p>宿泊費・食費・雑費 【2017 年度は 8,600 円（参考）】</p>
13	<p>「これがデータ分析だ！」【科プロ】 統計の授業等でも扱われない、様々なデータ分析の手法を紹介します。内容は、卒論・レポート課題等に利用して下さい。講師は半田・宮田（高崎経済大学）です。以下は予定しているテーマです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート質問紙の作り方・取り方 ・ テキストマイニング（単語情報の解析） ・ 相関関係 ・ 重回帰分析 ・ 主成分分析 ・ 因子分析 ・ 心理学で用いられるデータ処理 	<p>PC 室 1（N217） 年間 2 回程度</p>	<p>全学年対象 ※その都度 LHR や掲示でテーマを発表するので、自分の興味のあるテーマに参加してください。 ※卒論やレポートに活かす事を期待します。</p> <p><u>半田（情報科）</u></p>	<p>無料</p>

13	<p>「サイエンス講座 コンピュータの不思議」【科プロ】</p> <p>目的：</p> <p>1) 早稲田大学等の研究者と連携し、実用化されつつある最先端の科学技術とその仕組みを、アクティブラーニングの手法で学ぶことを通じて、最新科学技術への興味・関心を深める。</p> <p>2) 早稲田大学の学生との交流を通じて、大学における教育や学習方法を知り、進路選択の一助とする。</p> <p>内容：</p> <p>1) 脳波で情報処理(脳波でドローンを飛ばそう)</p> <p>2) 3D モーションセンサデバイスを体験しよう</p> <p>3) プログラミングを体験しよう</p> <p>講師等：会津大学短期大学部 准教授 中澤 真 湘南工科大学工学部 准教授 梅澤 克之 高崎経済大学経済学部 准教授 石田 崇 東京都市大学知識工学部 教育講師 齋藤 友彦 早稲田大学理工総研 名誉教授 平澤 茂一 早稲田大学学生</p>	<p>PC 室 or CALL 教室</p> <p>夏季休業中</p>	<p>全学年</p> <p>担当 影森 (物理)</p>	<p>無料</p>
----	---	-------------------------------------	------------------------------	-----------

※この他にも、招待等によりプログラムが入る可能性があります。その都度 LHR、掲示、Web 等で情報を流します。